



2025 進路状況

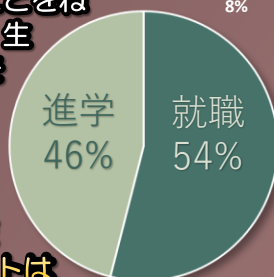
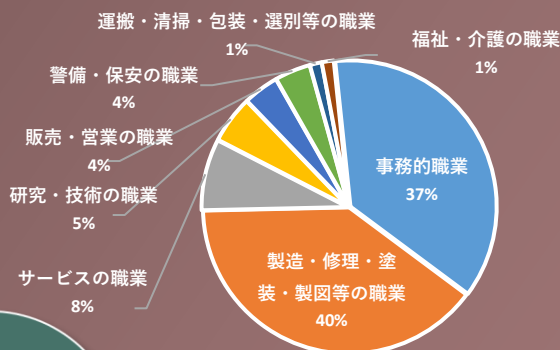


本校は伝統ある商業高校で、就職に強い学校です。しかし、近年の進学志向により、進学する生徒が半数を超え、国公立大学や有名私立大学にも進学する生徒が増えています。そのため本校では、就職にも進学にも対応するために、2年生からはビジネスコースとカレッジコースのいずれかを選択し、生徒たちは各々の進路実現に向けて学習していきます。

就職編

昨年度は、小松商工会議所主催の『ふるさとこまつ中・高・地域企業連携セミナー』で先生方に対して説明・情報共有・意見交換を行いました。

今年度は、新しい取り組みとして8月に2度にわたり現1,2年生に対して地元企業のべ約20社を本校にお呼びして「企業ガイダンス」を実施しました。早い段階から地元企業に触れることにより、今後の進路行事がより充実し、進路実現に向けてスムーズにいくことをねらいとしています。若い世代の生徒たちが、生まれ育った地域に就職し、労働人口の減少を食い止めることで「ふるさと」のさらなる活性化につながっていくことでしょう。

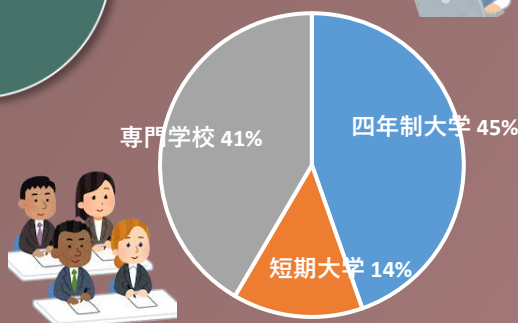


令和年6年3月卒業生



進学編

商業高校から進学するためには学校推薦型選抜を利用します。共通テストは免除され、書類選考・小論文・面接等で受験します。免除されるからといって決してラクなわけではなく、出願要件の評定平均値や資格取得条件をクリアするために、1年次から計画的に学習し、主体的に取り組んでいく必要があります。こうした本校での三年間の学びが基礎となり、上級学校での「より深くより専門的な学び」へとつながっていくことでしょう。



◆◆◆商業高校から進学するメリット◆◆◆

商業高校から進学する生徒は、商業の専門科目の基礎を学んでいます。したがって、大学進学後は普通科高校卒の生徒よりスタートラインが先にあり、専門的で深い学びを早い段階から実現することができます。大学での学びの目的を明確に持つとともに、優位性を最大限に発揮できるというメリットがあります。



地元企業にお世話になっています！



長期型企業実習(R7.7.18～10日間)

専門高校が地元企業と連携して将来の専門職業人につながる人材を育成するとともに、新規高卒者の各専門分野への就職促進や、早期離職の防止に向けた意識の醸成を図ります。学校設定科目「ワーキング」2単位の授業に代替されます。



短期企業実習(R.7.22～3日間)

昭和61年より本県で最初に実施しはじめてから、39回目を迎えました。キャリア教育の一環として地域産業の活動を理解し、既習の知識や技術を応用する能力を身につけることを目標としています。また、勤労の重要性を認識し、職業観を養うとともに豊かな人間性を培うための場としてとらえています。

